

自然観察サークル 6 月定例会の報告

6月10日（木）は、梅雨の中休みであるとはいえ、盛夏を思わせる暑い日となりました。時折吹くそよ風が暑さを和ませてくれます。この日は、石舞台地区から稲渚方面への「奥飛鳥」に生育する草木や昆虫の観察を行いました。祝戸から稲渚に至る道は自然観察の宝庫と言っていいくらい、様々な野草が繁茂しています。一つ一つ野草を確認しながら歩くと観察時間が足りなくなってしまうようです。予定のコースを回って無事定例会を終了しました。

【コース】石舞台地区～祝戸～稲渚～関大飛鳥文化研究所～稲渚～石舞台地区



祝戸～稲渚の風景



準備体操



観察会スタート



イスノキの虫こぶ



ガクアジサイ



都塚古墳方面への道



センニンソウ



シナサワグルミ



サワグルミ



ウツボグサの群生



トウバナ



イヌマキ (雄花)



イヌマキ (雌花)



アオカモジグサとカモジグサの違い



小穂と小花の図



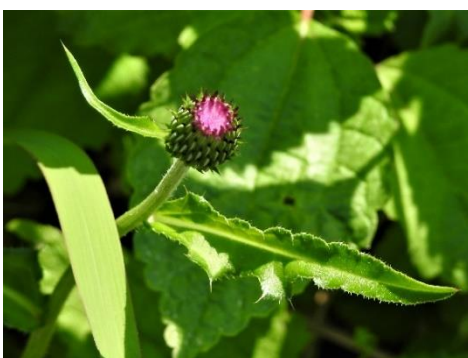
コマツナギ



ガガイモ



ガガイモの実 (ワタ)



ノアザミ



移動中



オニドコロ



アオツツラフジ



イヌビワ



アカネ



ホドイモ



ホドイモの花



カモガヤ



ノブドウ



ホタルブクロ



ノビル



ジャコウアゲハの幼虫



(参考：10月に撮影したジャコウアゲハ)



ヤブマオ



ワレモコウ



ウツギ



チョウセンマキ



ザクロ



ロウバイ (実)



テイカカズラ



ヤナギハナガサ



シロガヤツリ



ラカンマキ



ヒメコウゾ



ママコノシリヌグイ



クリ (雄花と雌花)



オオカワジシャ



スイカズラ



ボタンヅル



トゲジシヤ



コウヤマキ



センダン（梅檀）の木の説明

担当いただいた皆さん、準備や当日の説明ありがとうございました。